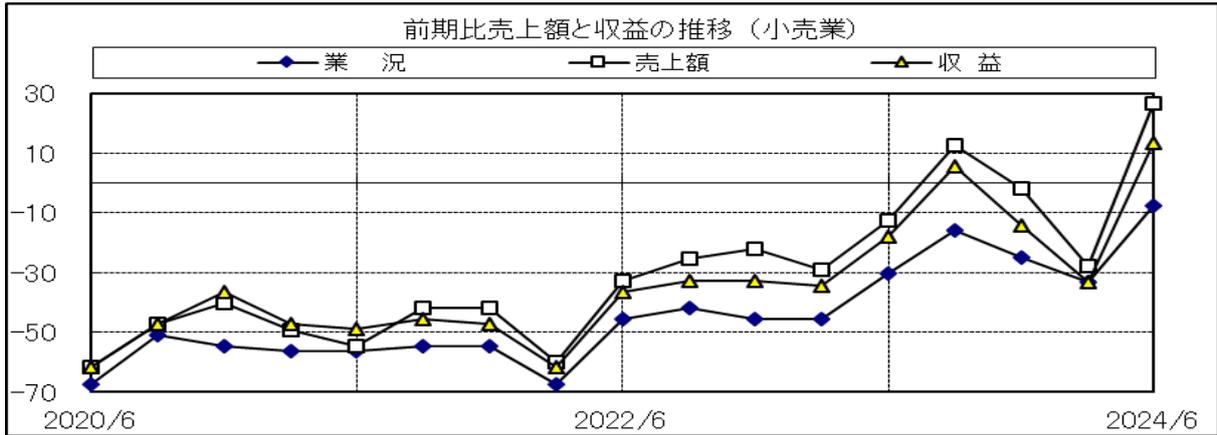


小売業 53企業 (回答率 100%) の調査結果です

□ 景況

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月期 実績	7~9月 期見通し
業況	-25.0	-33.3	-7.6	-13.2
売上額	-1.8	-27.7	26.4	3.8
収益	-14.3	-33.3	13.2	-1.9

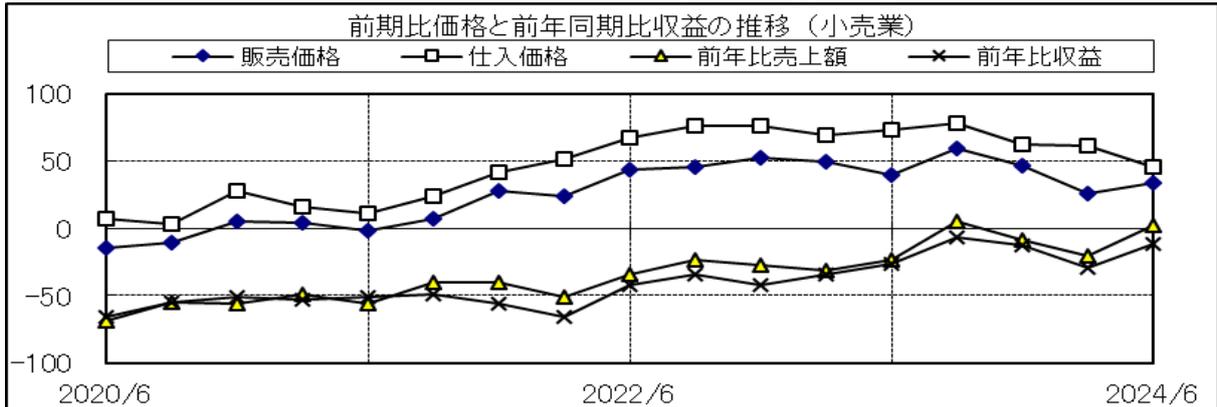
今期の業況判断 D. I. は $\Delta 7.6$ で、前期比 25.7 ポイント上昇、前年 ($\Delta 30.3$) 比では 22.7 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、三石が最も高く、次に、浦河、静内、様似、広尾と続き、えりもが最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は 26.4 で、前期比 54.1 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は 13.2 で、前期比 46.5 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
販売価格	46.3	25.9	34.0	24.4
仕入価格	62.5	61.1	45.2	39.6

販売価格判断 D. I. は 34.0 で、前期比 8.1 ポイント上昇、前年 (39.2) 比 5.2 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 45.2 で前期比 15.9 ポイント下降、前年 (73.2) 比 28.0 ポイント下降した。業種別では、衣料品は販売、仕入価格ともに下降。食料品は販売価格上昇、仕入価格下降。家電品は販売価格横這い、仕入価格は下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
残業時間	-5.3	-1.8	0.0	3.8
人手状況	-21.4	-13.0	-17.0	-18.9

残業時間判断 D. I. は 0.0 で、前期比 1.8 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は $\Delta 17.0$ で、前期比 4.0 ポイント下降し、人手不足感は強まった。

□ 設備投資の動き

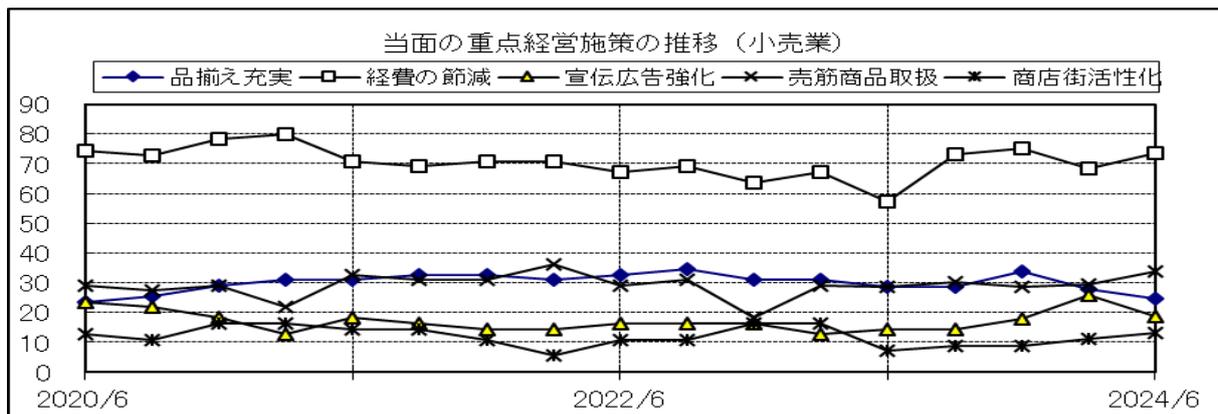
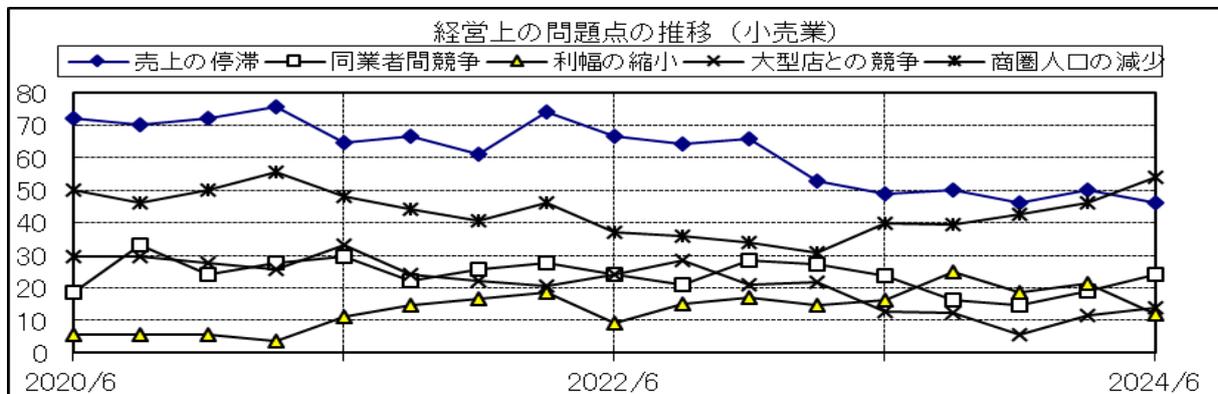
設備投資の充足感を示すD. I. は△11.3で、前期(△9.3)比2.0ポイント下降した。

設備実施企業割合は9.4で、前期(7.4)比2.0ポイント上昇した。設備投資は、前期4社に対し5社の実施となった。来期の設備投資は、4社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「商圈人口減少」が54.0%と最も多く、次に「売上停滞減少」46.0%、「同業者競合」24.0%、「商店街集客力低下」20.0%、「値上り要請」16.0%、「大型店競合」・「人件費増加」が14.0%、「利幅縮小」・「取引先減少」が12.0%、「販売商品不足」・「地場産業衰退」が8.0%、「諸経費増加」・「店舗の狭隘老朽化」・「天候不順」が6.0%、「人手不足」4.0%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が73.6%と最も多く、次に「売れ筋商品取扱い」34.0%、「品揃え改善」24.5%、「宣伝広告強化」18.9%、「商店街活性化」13.2%、「人材確保」9.4%、「仕入先開拓選別」7.5%、「教育訓練強化」5.7%、「店舗設備改装」・「営業時間延長」・「機械化推進」・「輸入品取扱増加」が3.8%となった。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△13.2と、今期比5.6ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は3.8と、今期比22.6ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は△1.9と、今期比15.1ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D. I. は24.4と、今期比9.6ポイントの下降を見通している。

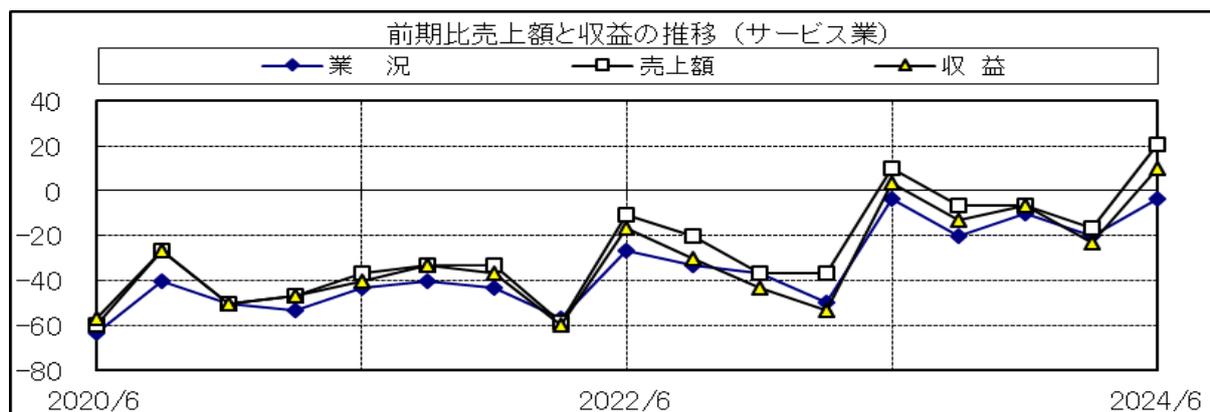
予想仕入価格判断D. I. は39.6と、今期比5.6ポイントの下降を見通している。

サービス業 29 企業（回答率 96.7%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
業 況	-9.9	-20.0	-3.5	-17.2
売上額	-6.6	-16.7	20.7	-6.9
収 益	-6.7	-23.3	10.3	-17.2

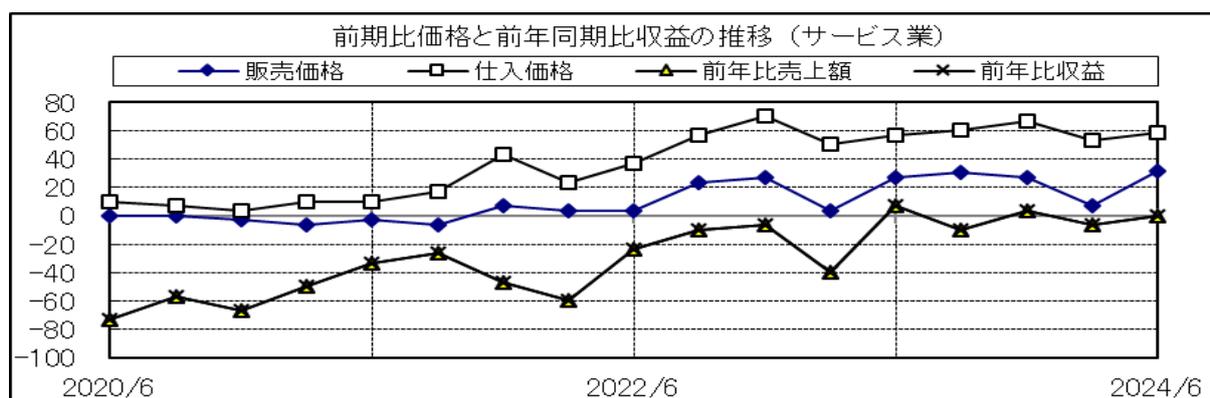
今期の業況判断 D. I. は $\Delta 3.5$ で、前期比 16.5 ポイント上昇、前年 ($\Delta 20.0$) 比では 16.5 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、三石が最も高く、次に、えりも、浦河、様似と続き、静内・広尾が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は 20.7 で、前期比 37.4 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は 10.3 で、前期比 33.6 ポイント上昇した。



□ 価格面の動きと前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
料金価格	26.7	6.7	31.0	13.7
材料価格	66.7	53.3	58.6	37.9

料金価格判断 D. I. は 31.0 で、前期比 24.3 ポイント上昇、前年 (26.6) 比 4.4 ポイント上昇した。材料価格判断 D. I. は 58.6 で、前期比 5.3 ポイント上昇、前年 (56.7) 比で 1.9 ポイント上昇した。業種別の料金価格は、旅館業、洗濯理美容業、自動車整備業が上昇、材料価格は、旅館業は上昇、洗濯理美容業、自動車整備業は下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
残業時間	3.4	0.0	0.1	-10.3
人手状況	-33.4	-37.9	-41.4	-37.9

残業時間判断 D. I. は 0.1 で、前期比 0.1 ポイント上昇し、残業時間がやや増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は $\Delta 41.4$ で、前期比 3.5 ポイント下降し、人手不足感は強まった。

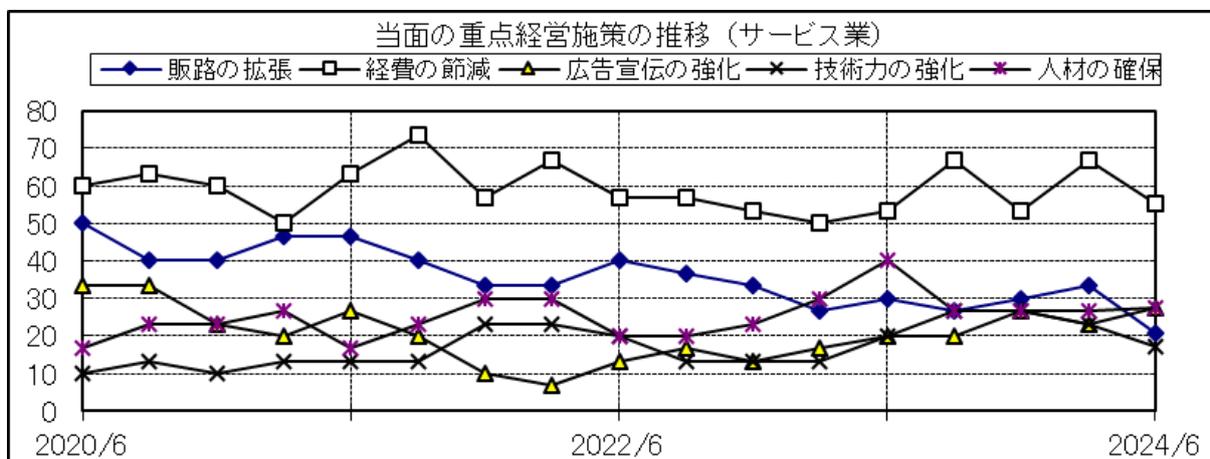
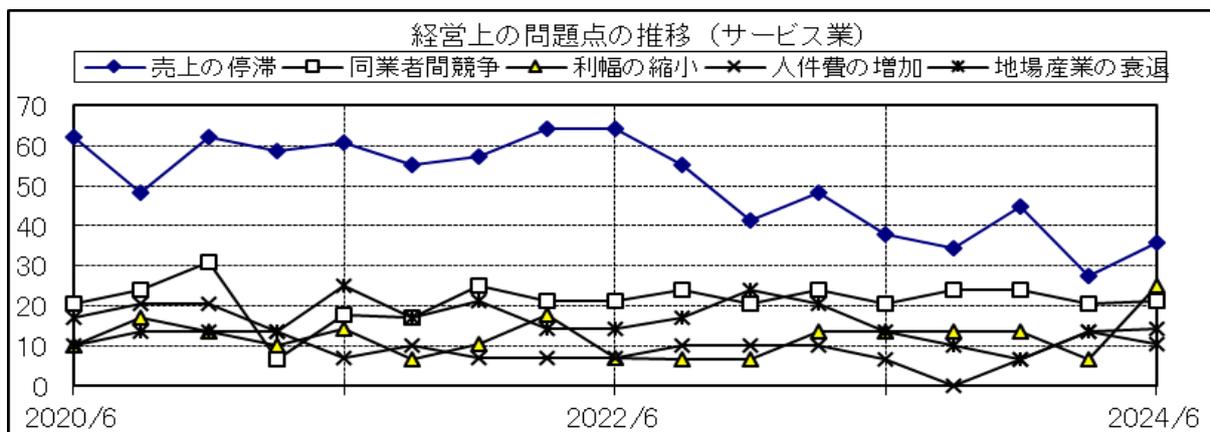
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD. I. は△17.3で、前期(△10.0)比7.3ポイント下降した。
 設備投資実施企業割合は13.8で、前期(10.0)比3.8ポイント上昇した。設備投資は、前期3社に対し、4社の実施となった。来期の設備投資は、5社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「商圈人口減少」が46.4%と最も多く、次に「材料価格上昇」39.3%、「売上停滞減少」35.7%、「利幅縮小」25.0%、「人手不足」・「同業者競合」が21.4%、「人件費増加」・「店舗設備の老朽化」が14.3%、「地場産業衰退」10.7%、「取引先減少」7.1%、「合理化不足」・「諸経費増加」が3.6%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が55.2%と最も多く、次に「宣伝広告強化」・「人材確保」が27.6%、「販路拡大」20.7%、「技術力強化」17.2%、「店舗設備改善」・「提携先確保」・「教育訓練強化」が6.9%、「機械化促進」・「労働条件改善」が3.4%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△17.2と、今期比13.7ポイントの下降を見通している。
 予想売上額判断D. I. は△6.9と、今期比27.6ポイントの下降を見通している。
 予想収益判断D. I. は△17.2と、今期比27.5ポイントの下降を見通している。
 予想料金価格判断D. I. は13.7と、今期比17.3ポイントの下降を見通している。
 予想材料価格判断D. I. は37.9と、今期比20.7ポイントの下降を見通している。

